別紙２

**研究インターンシップ実習内容**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学生派遣先機関名 |  | |
| 募集人数 |  | |
| 実習場所 | 〒 | |
| 実習担当部署名 |  | |
| 実習期間 | 202●年●月●日～●月●日 | |
| 実習時間 |  | |
| 休日 |  | |
| 交通費 | □支給　　□支給しない | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 手当 | □支給 　□支給しない | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 食費 | □支給 　□支給しない | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 社員寮等の利用 | □可 　　□不可 | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 制服・作業服等 | □貸与 　□貸与しない | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 選考方法や  その他受入れ条件 |  | |
| 最低限必要な技能 |  | |
| 受入れ分野 | □生命・物質化学　　□ソフトマテリアル　　□環境セラミックス  □材料機能　　　　　□応用物理　　　　　　□電気電子　　　　　□機械工学  □ネットワーク　　　□知能情報　　　　　　□メディア情報  □建築・デザイン　　□環境都市　　　　　　□経営システム　　　□分野不問 | |

|  |  |
| --- | --- |
| 実習テーマ |  |
| 実習内容 |  |
| アピールポイントや期待する成果 |  |

**研究インターンシップ実習内容　記入例**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学生派遣先機関名 | 株式会社〇〇〇〇 | | |
| 募集人数 | 例　2名程度 | | |
| 実習場所 | 〒466-8555　愛知県名古屋市昭和区御器所町 | | |
| 実習担当部署名 | 研究開発部商品開発課 | | |
| 実習期間 | 例１　2026年10月1日～12月25日  2027年春も受入れ可能な場合は、その期間もご記載ください。  例２　2026年10月1日～12月25日 または 2027年3月1日～5月28日 | | |
| 実習時間 | 例9;00～18:00（昼休憩12:00～13:00） | | |
| 休日 | 例　　土曜日、日曜日、国民の祝日、その他会社指定の休日 | | |
| 交通費 | ■支給 | □支給しない | 備考（1日当たりの上限2,000円　　　　　　　） |
| 手当 | □支給 | ■支給しない | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 食費 | ■支給 | □支給しない | 備考（社内食堂　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 社員寮等の利用 | □可 | ■不可 | 備考（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 制服・作業服等 | ■貸与 | □貸与しない | 備考（会社の作業着を用意します　　　　　　　） |
| 選考方法や  その他受入れ条件 | ・書類審査により受入決定をします。　　　　・適性検査をします。  ・必要に応じて人事担当者及び研修先の担当者と面談をします。  ・基礎的な専門的な能力があるかどうかの書類試験をします。  ・研修内容は面談時に調整し、必要に応じて追加・変更をします。  （学生が個人のPCを使って実習することをお考えの場合は、必要スペックやアプリケーション等もお示しください。） | | |
| 最低限必要な技能 | ・プログラミング、ＣＡＤの知識が必要です。  ・Word, Excel, PowerPointを用いての書類作成  ・化学実験、旋盤加工の経験があること | | |
| 受入れ分野 | □生命・物質化学　　□ソフトマテリアル　　□環境セラミックス  ■材料機能　　　　　■応用物理　　　　　　■電気電子　　　　　■機械工学  □ネットワーク　　　□知能情報　　　　　　□メディア情報  □建築・デザイン　　□環境都市　　　　　　□経営システム　　　□分野不問  ※分野の概要は、創造工学教育課程のパンフレットをご参照ください。  🔗[https://creec.web.nitech.ac.jp/uploads/2024\_創造工学教育課程パンフレット.pdf](https://creec.web.nitech.ac.jp/uploads/2024_%E5%89%B5%E9%80%A0%E5%B7%A5%E5%AD%A6%E6%95%99%E8%82%B2%E8%AA%B2%E7%A8%8B%E3%83%91%E3%83%B3%E3%83%95%E3%83%AC%E3%83%83%E3%83%88.pdf) | | |

|  |  |
| --- | --- |
| 実習テーマ | 〇〇についての研究開発、品質改善、調査研究 |
| 実習内容 | 主力製品に使用する新規材料は、長期的に耐熱・耐候の向上が求められています。研修ではこの材料の量産における問題や課題を理解し、それに対してどのような分析をすべきか考え実践していただきます。  研修ではまず商品開発課に配属となり、いくつかの新規材料の中から１つ選んでいただき、目標やテーマ設定などをします。そのまま分析室にて評価をすすめてもらいます。分析室では最新の分析機器である〇〇を用い、自分自身で最適な手法を考えてもらいます。現場担当者が適宜フォローするので、悩んだりすることなく進めることができます。週に数回、現場担当者との面談を行い、進捗状況などを確認します。必要に応じて工場の量産機にて、試作することもあります。  最後に課内で成果報告会を実施し、報告書を提出することになります。  研修中に工場見学や技術者との交流を予定しております。希望すれば海外拠点の視察も考えております。（費用負担あり） |
| アピールポイントや期待する成果 | 民間企業の評価・分析方法を体験してもらい、限られた中で最大限の成果を出す手法を考え、実践してもらいます。将来、品質保証や分析業務に携わりたい方には、この研修をとおして必要なスキルが身に付きます。ＴＱＭやシックスシグマなどの品質改善の手法も学ぶことができます。 |

・１実習題目につき１枚作成してください。（複数題目の場合は、その分作成をお願いします。）

・１実習題目につきＡ４の２枚までに納め、Wordファイルでご提出お願いします。

・夏の公募型インターシップと併せて実施する場合は、その旨ご記載ください。

・実習内容は、目的や方針を示してください。学生と目標やテーマの設定を行ってください。未定である

ものは「面談時に調整」あるいは「応募時に相談」など、後ほどフォローができる旨をご記載ください。

・派遣先機関内で、成果報告書の提出や成果報告会等を計画していただいて構いません。